

会 議 の 要 旨

会議の名称	第2回川越市介護保険事業計画等審議会
開催日時	平成26年10月3日(金) 午前9時30分 開会 ・ 午前11時30分 閉会
開催場所	川越市総合保健センター研修室(3階)
議長氏名	会長 齊藤 正身
出席委員氏名	山根委員、荻窪委員、関口委員、若海委員、川口委員、近藤委員、橋本委員、長峰委員、荻野委員、芝波田委員、米原委員、原委員、長田委員、小林委員、矢代委員、横田委員
欠席委員氏名	宮山委員、小野寺委員、矢部委員、矢澤委員、木村委員
事務局職員氏名	庭山福祉部長 高齢者いきがい課：内山課長、宮下副課長、佐藤主幹、関根主任、 佐藤主任 健康づくり支援課：神田課長 介護保険課：久津間課長、間仁田副課長、佐藤主幹、太田主査、鍛冶主査、 金田主任、正田主事、渋谷主事補
会議次第	1開会 2あいさつ 3報告事項 4議事 5その他 6事務連絡 7閉会
配布資料	1 次第 2 第1回川越市介護保険事業計画等審議会の要旨…資料1 3 高齢者福祉事業(一般会計)について(高齢者いきがい課・介護保険課)…資料2-1 4 福祉サービスの概要(一般会計分)…資料2-2 5 川越市介護保険事業特別会計決算額(平成24年度～平成25年度)及び予算額(平成26年度)…資料2-3 6 各サービスの保険給付費の決算額の推移…資料2-4 7 地域支援事業の概要(特別会計分)…資料2-5 8 第5期川越市介護保険事業計画サービス基盤の整備目標と実績…資料2-6 9 川越市内介護保険施設配置図(特定施設入居者生活介護含む)・川越市内地域密着型サービス事業所配置図(建設予定含む)…資料2-7 10 平成25年度川越市内事業所数について…資料2-8 11 川越市における介護予防の取組み…資料3-1 12 65歳以上の方のための健康体操・運動教室…資料3-2 13 新しい地域支援事業の全体像…資料3-3 14 第6期における地域包括支援センターの設置指針(案)…資料3-4 15 川越市直営による基幹型地域包括支援センターの設置(案)及び設置の必要性について…資料3-5 16 介護政策評価支援システムにおける分析表…参考資料

議事の経過

1 開会

2 あいさつ

会長による開会のあいさつ。

3 報告事項

(1) 第1回川越市介護保険事業計画等審議会について

事務局より、資料1を用いて、第1回川越市介護保険事業計画等審議会の開催内容について報告。

(2) 平成25年度高齢者福祉事業及び介護保険事業について

事務局より、資料2-1から資料2-8、参考資料を用いて、平成25年度高齢者福祉事業及び介護保険事業について報告。

(会長)

介護政策評価支援システムにおける分析表について、なぜそうなのか、ということが大事なので、もう一步踏み込んだ考察をしていただきたい。全国平均や埼玉県平均との比較は、規模が違うのであまり参考にならない。中核市との比較や今話題の柏市とどう違うのか等、そういった比較をした資料だとわかりやすい。

(委員)

1点目について、意見であるが、昨今、通所介護事業所の廃止がいくつかみられ、通所介護事業所が過剰気味であると思う。居宅サービスについては、整備の適正化を量だけの問題ではなく場所についても配慮する必要がある。少なくとも、事業計画にそういった文面を記載し、意識していく必要があると思う。また、近隣の市町村も考慮した考察、マネジメントが必要であると感じた。

2点目に、資料2-4の保険給付費の見込額と実績額の推移についてであるが、第5期介護保険事業計画における保険給付費の見込み額と25年度の実績額を比較すると乖離が大きいのではないかと。この乖離について、どの部分が大きいのか、事務局から説明をいただきたい。

(事務局)

平成25年度の保険給付費の当初予算と実績額の差額であります、22億6774万円あまりあります。主な内訳としましては、居宅介護サービス給付費10億7665万円あまり、施設介護サービス給付費8億1321万円あまりでございます。

(委員)

事務局で、原因の検証はしているのか。

(事務局)

居宅介護支援サービス給付費の見込み量について、月の利用者6431人の見込みに対しサービス受給者数は、5520人となり、911人の差がありました。

施設介護サービス給付費の見込み量について、月の利用者1998人の見込みに対し、施設介護サービス受給者数は1799人となり、193人の差がありました。

また、第5期事業計画の認定者数について、11803人の見込みに対し、実際の認定者数は11441人となり、362人の差が生じております。以上が主な要因でございます。

第6期では、大幅な乖離が生じないように、策定していきたいと考えております。

(委員)

1点目に、資料2-3の歳出の科目における任意事業費（高齢者いきがい課・介護保険課）について、平成25年度の決算額が99,059,101円であるのに対し、平成26年度予算では141,073,000円と配食サービスの支給件数、支給額については減少しているが増額した内容について説明いただきたい。

2点目に、基金積立金について、平成25年度653,521,078円、平成26年度予算3,438,000円となっているが、このような大きな差が生じるのはなぜか。

(事務局)

まず、任意事業について、第5期事業計画におきまして平成24年度から平成26年度までの地域支援事業の各事業の見込み額を定めておりまして、その見込額が予算となっております。配食サービス事業の支給額を減額した影響もあり、実績と予算に差が生じているものですが、その他の要因については、後日報告させていただきます。

次に、基金積立金について、特別会計で、単年度の会計決算でありますので、その年の歳入と歳出の差額の繰越金という形で出るのですが、そのうちに保険給付に係る歳入と歳出の差額を準備基金として翌年度に積み立てるという形でございます。その関係で、年度によって、また3年毎の計画によってかなり差が生じるものでございます。

(会長)

地域支援事業は今後の目玉になっていくと思うので、今後どのように予算を組んでいくのかという部分について、もっと詳しい資料が必要だと思う。

(委員)

川越市は、レセプトをしっかりとチェックしているのか。

(事務局)

レセプトの点検については、国民健康保険団体連合会が事業者の請求を受け、点検しております。

(委員)

介護保険事業所の空き状況を市は把握しているのか。

(事務局)

市が直接的には把握しておりません。施設サービスについては、県のホームページで、各事業者からの情報提供を受け、公開されております。

(会長)

地域密着型サービス事業所の空き情報については知りたいところである。

このサービスは受けなくても、その代わりとしてこちらのサービスを受ければまかなえるといったものもある。一つ一つのサービスのニーズだけでは測れないため、どのような類のサービスがどれくらい必要なのかということを圏域化することが大事である。また、その圏域だけではなく、隣の圏域の状況を把握した方がよい。次回の審議会には、川越市の圏域ごとの現状を分析した資料を提示していただきたい。

(事務局)

審議会の前に、委員の皆様へ送付させていただきます。

(会長)

1つ提案があるのだが、ワーキングチームが必要ではないか。役所内でそのような作業をして検討した結果のデータがここに出てくるとよいと思う。ぜひ検討していただきたい。

4 議事

新しい地域支援事業について（介護予防生活支援サービス事業について、一般介護予防事業について、包括的支援事業について、任意事業について）

事務局より、資料3-1から資料3-3を用いて説明。

(会長)

体操や運動等に、興味がわくような一工夫が加わるといいのではないかと思います。

(事務局)

はい。また、資料3-4、3-5については、まだ素案という段階なので、後日改めて説明させていただければと思います。

(会長)

平成27年4月から介護予防事業を取り組もうということをご理解いただくということでのよいのか。

国や県も、すべて一斉にやらなくても一部分でもよいとしているので、その際には、平成27年4月から前向きに行えるよう動いているということでのよいのか。

(事務局)

はい。

(委員)

介護予防の体操に、ラジオ体操は入っているのか。

(事務局)

今回紹介した、いもっこ体操だけが介護予防の体操だという限定はしていません。

(会長)

介護予防のネーミングについて、よい案があれば委員の皆様から、提案をいただきたい。

では、事務局が提示した案について、国・県の動きを見ながら進めていくということで、委員の皆様、ご了解いただけるか。

→ 一同了解。

5 その他

なし

6 事務連絡

第3回の審議会を10月29日に、第4回の審議会を11月17日に開催いたします。
お忙しい中、恐縮ですが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

7 閉会

